

# R

RITSUMEIKAN

# 北の立命館

Vol.34 2023.3.31 [発行]立命館慶祥中学校・高等学校 保護者会/教育振興会 (題字/西脇 終)





# コロナ後の未来を見据える立命館慶祥

立命館慶祥中学校・高等学校 校長 江川 順一



私が本校校長に着任した2020年度からの3年間は、新型コロナウイルスに翻弄された3年間でありました。着任と同時に、コロナ対応を否応なしに迫られました。

慶祥にとって、甚大な影響のひとつは研修旅行に起こりました。2020年度は、海外研修はもちろん、やむを得ず企画した代替の国内研修ですら中止せざるを得ない状況が生じました。生徒の皆さんにとっても、保護者の皆さんにとっても、そして、私たち教職員にとっても、本当に悲しく辛い決断でした。その後も思うに任せぬ状況が続きました。これらの経験から臥薪嘗胆を胸に秘め、「慶祥教育を止めない」という強い思いを持ち、海外研修の再開を虎視眈々と狙っておりました。

今年度に入り、コロナの状況を見据えながら、昨秋から海外研修の再開を決意しました。昨年9月にはカナダバンクーバー研修を実施し、慶祥として3年ぶりに海外研修再開の「狼煙」を上げました。冬休みに突入後、12月にはマレーシア、マレーシア・ボルネオ、ベトナム、SSHタイ、年明け1月には、GLAオーストラリア、ハワイ、GLAネパール、アメリカ・ハーバード大学、3月には、アメリカ・NASA、韓国・安養、オーストラリア北部などの研修が出発あるいは出発を予定しています。中学校では、中3の学年全員で行くNZ研修が2月にスタンバイしています。このことは、本当に嬉しい。新型コロナの感染症法上の位置付けも、5月にインフルエンザと同等の取扱いとなり、今後は新しいフェーズでコロナに対応することとなります。コロナ後の未来を見据えた立命館慶祥は、海外研修の復活とともに「世界に通用する18歳」を目指した教育を、改めて旗幟鮮明にしていきたいと思っております。

保護者会および教育振興会の皆さまにおかれましては、絶大なるご支援をいただきまして、深く感謝申し上げます。今年度、コロナ禍に対応した環境整備のため、保護者会からは高校スタッフルーム前の自習スペースに設置したデスクライトを寄贈していただきました。ありがとうございます。また、教育振興会とは只今相談中です。今後とも、慶祥中高を支える両輪として、両会の皆さまのお力が必要です。立命館慶祥の未来のために、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。



教育振興会会長  
小笠原 正浩

新型コロナウイルスのパンデミックが始まって3年あまり経過しました。この間、感染防止のため、さまざまな活動を自粛し、大部分の行事や活動を中止せざるを得ない状況が続いています。昨年は定期総会を会場とオンラインのハイブリッド形式で開催し、大勢の会員の皆様にご参加いただきました。また、海外からの入国制限が緩和され、留学生を対象として日本伝統文化体験を開催しました。一方、生徒の皆さんの課外活動の制限もかなり解除されてきました。高校弁論部や陸上部の活躍に加えて、昨年は中学ラグビー部の東日本大会3位入賞、高校ラグビー部の花園大会出場というビッグニュースがありました。花園ラグビー場では慶祥や立命館関係者が大勢観戦し、パブリックビューイングも開催されて大いに盛り上がりました。この他にも全道、全国大会での活躍も増えており、うれしい限りです。感染防止対策を取りながら、社会、経済活動を推進する方向が明確になってきましたので、教育振興会としても学校の意向に沿って、徐々に活動の幅を広げていきたいと考えております。今後とも皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



保護者会会長  
青坂 進一

新型コロナウイルスによる世界的な混乱から3年余りが経過しましたが、この間、保護者会活動についても感染拡大防止の観点から自粛を余儀なくされました。しかしながら時間が止まってくれる訳ではなく、役員の入れ替わりもありこれまでの活動を引き継いでいくことの難しさを感じながらコロナ禍での出来る活動を模索してまいりました。2022年度は保護者会、教育振興会の合同総会を動画による生配信、サンドイッチパーティーの代替イベントをスターティングパーティーとして生徒会、各部活、学校、クレオテック様の協力のもと動画配信を実施。立命祭にて飲み物の提供、おやじの会にてフランクフルトの販売。保護者サロンを開催し保護者間の親睦を図ることも出来ました。また、感染拡大がなかなか収まらない中ではありますが、高校ラグビー部をはじめ生徒たちの活躍は目を見張るものがあり、保護者会としても微力ながら活動をサポートさせていただきました。また、校内の学習環境の整備などもお手伝いさせていただきました。このように少しずつではありますが保護者会として活動を再開し、保護者会活動の目的である生徒の豊かな学力と未来の主催者にふさわしい人格形成のために必要な活動、会員向けの研修や親睦を深めることを実践していきたいと考えておりますので引き続き活動へのご理解、ご協力の程よろしく申し上げます。

# 立命館慶祥高等学校

## 第27回 入学式

4月7日(木)、第27回入学式が行われました。  
江川校長が壇上でこやかな笑顔と拍手で迎える中、311名の新入生が入場しました。



# 立命館慶祥中学校

## 第23回 入学式

高校の入学式と同日、第23回入学式が行われました。  
190名の新入生が真新しい制服に身を包み、緊張した面持ちながら堂々と入場しました。





中学 7月8日  
高校 7月9日・10日

# 立命祭

第27回



光るうちわ /



グランプリ 2-4



グランプリ 3-1



グランプリ 2-I



グランプリ 3-G



準グランプリ 1-3



準グランプリ 2-5



準グランプリ 1-C



準グランプリ 2-A



準グランプリ 3-5



準グランプリ 3-F



立命祭のような「行事」の良さを、私は、「他の生徒の頑張りが見られる」というところだと思っています。コロナの影響で、今まで、他学年の頑張りを見られる機会が、あまりありませんでした。だからこそ、今回の立命祭では、新しい気付きがとて多く、とても貴重な経験になりました。一人一人が本気で頑張ることで、これからも良い立命祭になることを期待しています。

中学生徒会長 3年4組 沢田 侑叶

感染症対策等、気にしなければいけない部分も多い中ではありましたが、光るうちわの配布、開閉祭式や前夜祭、新しい取り組みとしてのキッチンカー誘致などを行うことができたので、コロナ以前の形に近いもので実施するという意味でも改革をしていくという意味でも、とても良い立命祭になりました。残すべきところと変えていくべきところを判断しながらより良いイベントにしていければと思います。

高校生徒会長 2年C組 東 叶夢





# 北海道研修

2泊3日 in 十勝

9月25日[日]~27日[火]

中1

## 『飛び込め十勝！同心協力×一期一会』

RITSUMEIKAN KEISHO

- 1日目 幕別町、鹿追町、土幌町、芽室町、新得町、浦幌町に別れて収穫体験
- 2日目 浦幌町で12のコースに別れて探究学習
- 3日目 更別村、大樹町に別れて産業学習

細深

### 北海道研修レポート /

#### 1日目 収穫体験

私が収穫体験でごぼう抜きとぶどう狩りの2つを経験しました。ごぼうは本来機械で収穫するのですが、私たちは手で抜きました。それは、昔機械がない時の収穫の仕方だそうです。実際やってみると全身の体力を使ったのでとても疲れました。昔の人が手で抜いていたのはすごく大変だったのだなと思いました。

次に、ぶどう狩りです。ぶどう狩りでは、3人グループに分かれ収穫していきまいた。その収穫したぶどうはワインになるそうです。収穫が終わると、収穫したぶどうを使って作ったぶどうジュースを飲ませてくれました。すごく新鮮でとても味が濃くおいしかったです。

研修で学んだ北海道のことをこれから生かしていきたいです。

1年4組 山岸 真緒

#### 2日目 浦幌探求学習

私は副業コースとして、浦幌町のコミュニティラジオ「浦幌ラヂオ」の「若者の視聴者をどのように増やすか」についてお話を伺いました。事前学習で考えておいた、「はあって言うゲーム」の紹介をしてみると、全く知らない人にゲームの全体像が伝わりにくかったり、音が近い単語は同じように聞こえてしまったりするなど、実際にやってみないとわからないことが多くわかりました。

動画やビデオ付き通話が主流となる中で、音だけのラジオには様々な伝え方の工夫があることが感じられました。これからは言葉でわかるように伝えるということも意識に入れながら生活していきたいです。

1年5組 田中 大和



# 京都研修

3泊4日

10月18日[火]~21日[金]

中2

#### 1日目

衣笠キャンパス  
講義・キャンパスツアー



#### 2日目

びわこ草津キャンパス・京都大学・平等院・萬福寺



#### 3日目・4日目

コース別研修  
狂言鑑賞



知空青

3泊4日、天気にもめぐまれ思い出に強く残る4日間でした。感染対策のため、制限のかかることもありましたが、ほぼ計画通りのプログラムを体験することができました。立命館大学では、先輩方に大学の勉強や大学の環境について教わり、コース別体験や平等院見学、狂言鑑賞を通して、古都京都から現代の京都まで様々なことを学ぶことができ、クラスや学年の和も深まりました。最後に、今回の研修を用意してくださった多くの方々に感謝申し上げます。

第22期生 第2学年常任委員長 佐藤 賢悟



# ニュージーランド研修

14日間

第1団

2023年2月11日[土]~24日[金]

第2団

2023年2月13日[月]~26日[日]



NEW ZEALAND

Ruckland  
Tauranga  
Waikato

2週間の

研修プログラム

第1団 第2団

2/11(土)	新千歳空港~成田空港発	
13(月)		
12(日)	オークランド空港着~	専用バスにてそれぞれ研修地区へ移動
14(火)	ワイカト、タウランガ	ホストファミリー宅へ
▼	各学校へ登校し、終日パティと共に現地授業を受講	
22(水)	ワイカト、タウランガ	各学校にて授業参加後
24(金)		Farewell Function
23(木)	オークランド	学校出発後、オークランド中心部へ
25(土)		移動し、班別自主研修
24(金)	オークランド空港発	お疲れ様でした
26(日)	新千歳空港着	

自主自立



3年1組  
河瀬 鉄馬



3年6組  
小松 詩子

コロナの影響で例年よりも短い期間でしたが、行けたことにまず「ありがとう」の気持ちです。僕は研修でたくさんのことを学び、レベルアップできました。まず言葉の壁にぶつかり研修をものにするのが心配でしたが、僕はとにかく英語で話しかけることにチャレンジ続けました。最初は少し心配でしたが、いつの間にかすっかり楽しんでいました。僕はこの研修で自らの行動を起こす大切さと面白さを学びました。研修に行けて良かったです。

今回の研修では、現地の学校に行き授業を受けました。英語で話せるか不安でしたが、ある方から「旅の恥は掻き捨て」という言葉を頂き、恥ずかしがらず一杯楽しもう、と思えました。そして、各授業で隣り合った人に毎回話しかけ、名前を覚え、何とか会話を続けようとしていると、あっという間に最終日になっていました。少なすぎるさよならパーティの招待状を、一体誰にあげようかと迷う自分がいて、今回の研修は大成功だった、と心から思いました。





# R 高2研修

2022年  
10月17日[月]~22日[土]  
5泊6日



全9コース

- ① 全国一のモノ作りの技術と伝統
- ② 世界が選ぶ日本の地域の魅力
- ③ 戦争の悲劇と平和の尊さ
- ④ 災害から学ぶ医療人像
- ⑤ 地域の町づくりに学ぶ地方創生
- ⑥ 温故知新。日本を、自分を知る
- ⑦ 守るべき日本の伝統・文化
- ⑧ 産業・文化の発展と環境の共生
- ⑨ 東洋のガラパゴスで学ぶ生物多様性

- 東海コース  
四国(インバウンド)コース  
広島コース  
東北コース  
四国(地方創生)コース  
九州コース  
北陸コース  
中国山陰コース  
奄美大島コース

コロナ禍の影響に対応し、独自に考えられた国内9コースの高2研修は、感染対策を確実にし、学年研修として実施されました。仲間と過ごした5泊6日の旅は、参加者全員にとってかけがえのない貴重な思い出となり、有意義な経験となりました。



④ 災害から学ぶ医療人像  
[東北コース]



⑦ 守るべき日本の伝統・文化  
[北陸コース]



① 全国一のモノ作りの技術と伝統  
[東海コース]



⑨ 東洋のガラパゴスで学ぶ生物多様性  
[奄美大島コース]



⑧ 産業・文化の発展と環境の共生  
[中国山陰コース]



③ 戦争の悲劇と平和の尊さ  
[広島コース]



⑥ 温故知新。日本を、自分を知る  
[九州コース]



⑤ 地域の町づくりに学ぶ地方創生  
[四国(地方創生)コース]



② 世界が選ぶ日本の地域の魅力  
[四国(インバウンド)コース]





# OVERSEAS TRAINING

3年ぶりの再開!

## 世界へはばたけ! 慶祥の海外研修

空と大地と人間のつながり

**韓国 安養市内** **韓国・安養**  
 2023年3月23日(木)～27日(月) 5日間

姉妹校である安養外国語学校との交流

**バンクーバー** **カナダ**  
 2022年9月26日(月)～10月3日(月) 8日間

「分断」から「交流」へ共生社会のあるべき姿を描く旅



**ネパール カトマンズ・ポカラ** **GLAネパール**  
 2023年2月3日(金)～11日(土) 9日間

発展途上国からみた国際関係: 開発援助、観光、人権、環境  
 【立命館大学グローバル教養学部連携コース】



**ベトナム ホーチミン・フエ** **ベトナム**  
 2022年12月18日(日)～25日(日) 8日間

1国の歴史的背景からその国の姿を学ぶ～ベトナム戦争と経済成長～

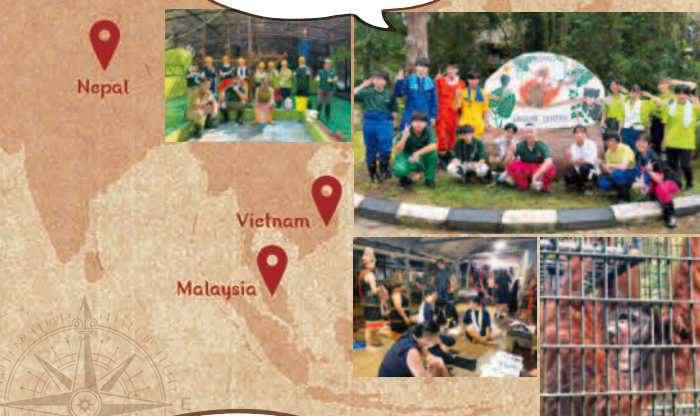


**ハワイ州 ハワイ島・オアフ島** **ハワイ**  
 2023年1月31日(火)～2月6日(月) 7日間



**ボルネオ島 クチン** **マレーシア・ボルネオ島(環境保護)**  
 2022年12月18日(日)～25日(日) 8日間

熱帯雨林と森の賢者 オラウータンを守れ



“STEAMED” NASAからアメリカの多様性と科学技術のダイナミズムを学ぶ

**アメリカ合衆国 オーランド・ワシントンD.C.** **アメリカNASA**  
 2023年3月24日(金)～31日(金) 8日間



**マレーシア ジョホールバル** **マレーシア(文化交流)**  
 2022年12月18日(日)～24日(土) 7日間

交流・交流・交流～人と接して人を好きになろう!!



**オーストラリア ACT・NSW州 キャンベラ・シドニー** **GLAオーストラリア(多文化共生)**  
 2023年1月22日(日)～29日(日) 8日間

Australian History from an Aboriginal Viewpoint  
 【立命館大学グローバル教養学部連携コース】



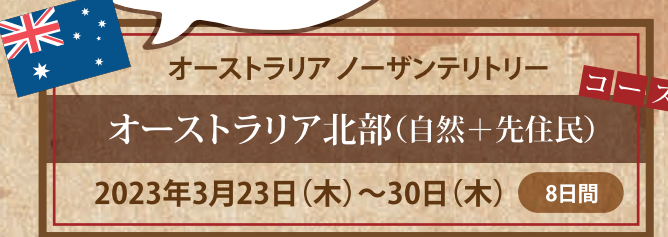
**アメリカ合衆国 ボストン** **ハーバード大学**  
 2023年2月12日(日)～22日(水) 11日間

世界最高峰の大学で、グローバルリーダーに必要な資質を知る



**オーストラリア ノーザンテリトリー** **オーストラリア北部(自然+先住民)**  
 2023年3月23日(木)～30日(木) 8日間

“Dreamtime” 4万年の歴史を持つ先住民族 アボリジニの文化から学ぶ 『調和と多様性』







3-A

普段からとにかく明るく賑やかなクラスです。本当に「個性派揃い」ですね。そんな中で、お互い支えあって、コミュニケーションをたくさんとって生活している様子を見ると、「青春ってやはりいいなあ」としみじみ思います。私の青春時代というのは、森田公一とトップギヤランの「青春時代」(1976年)を聞きながら、独り、物思いにふけることが多かったものですから、今こうして皆さんを見てると改めて「仲間って素敵だな」と思うのです。

大切にしてくださいね、「縁」を、「人のつながり」を。

内山先生より



3-B

初日からアイスブレイクした元気印がトレードマークのB組です！賢さとお茶目さがミックスした41名の大所帯、毎日賑やかに過ごしていました。一時はコロナによる学級閉鎖?!の危機もありましたが、何とか乗り越えて来ました！この1年間でアカデミックにもメンタルにもたくましく育った精鋭たち、世界は君たちの手中にある、とまではまだ言えないが、今後そう言えるように次のステージでシンジラレナイ成長を遂げて下さい。3Bの仲間とともに！

中川先生より



3-C

IR+LAの心地よいミックスと、国内だけでなく海外からも集まった、様々なバックグラウンドを持つ生徒の多様性が強みの3C。互いを尊重し心地よい関係を作る、グローバルな視野をもってローカルも大事にする生徒との1年間は、実り多いものでした。コミ英、TOEFL、課題研究、LHR・SHRと毎週10時間顔を合わせて感じたのは、語学力の素地、新しいことにトライしてみる気持ち、のびのびと表現する意欲が高いこと。今後「国際」のつく学部・学科に進む生徒も多く、ここで培った経験を活かし、さらなる飛躍を期待しています。

山崎先生より



3-D

陰気な理系クラス？ではなかった。確かに、リアクションは薄く、平熱は低い。ただ、コソコソ！というときには、コソコソ隠れて、コソコソ取り組み、真面目にバカできる、愛すべき生徒たちであった。担任として大変だったことはない。だからこそ、寂しくもあり、心配でもあった。もっと大きく転んでもいい。もっと悲惨に失敗してもいい。地道に努力を重ねること、全力で楽しむこと。それができる人たちだからこそ、もっともっともっと、自分の人生に挑戦しないと勿体ないよ。今日が人生で一番ポテンシャル最大の日！上を向いて歩こう！

大沢先生より



3-E

卒業おめでとうございます！1年間を通して授業に集中していたことが、素晴らしかったと思います。そして、立命祭クラス企画に熱中したことは、忘れられない思い出になったのではないのでしょうか。あの時は、定期テストに向けた学習や、受験準備、クラブ活動をしながら、クラス企画の練習・準備も毎日していましたね。同じくらいのエネルギーで、これからの生活にも向かっていけそうですね。受験や生活において大変なことやつらいこともあったと思いますが、教室で一緒に過ごしたみんなから勇気ももらって、次の一歩を踏み出しましょう。応援しています。

石川先生より

on your graduation!

RITSUM EIKAN  
KEI SHO

CONGRATULATIONS

ご卒業おめでとうございます


不自由な3年間だったろうな、と今でも思います。入学直後に学校にも行けない、日々マスクが手放せない、楽しく食事をしていたら注意される...など。学校の中だけではなく、社会全体がそうなっていました。コロナ禍前の生活をすぐには思い出せないほど、「非日常」が「日常」になっていました。「素直で聞き分けがよい」と言われることも多くありましたが、ひょっとするとみなさんは「聞き分けがよかった」のではなく「諦めることに慣れてしまっていた」のかもしれないな、と思ひ返したりします。

ただ、みなさんの今後の人生はそうではない。「しょうがない」で引き下がるのではなく、どんどん突っかっていってほしい。やりたいことは「やりたい」と、自分で声を上げて、必要があればより力をつけて、掴み取れるようになってください。

コロナの一番厳しい時期に高校3年間を過ごしたこと、他の世代からは「運が悪かった」と言われるかもしれませんが、ただ、人生は長いので、きっとどこかでバランスが取れます。しんどい時はこの先もあるでしょうが、諦め悪くしがみついでください。

「あのときは大変だったなあ」と高校時代を思い出すときには、今よりもっと幸せであることを願って。

卒業と新たな旅立ちに、ありったけのエールを。



高校3年学年主任  
久保田 泰浩先生



3-F

新しい世界へと踏み出すあなたたちは、今まで体験したことのないようなことに出会うでしょう。自分の価値観を大きく揺るがすような出来事が起こるかもしれません。どんなことが起きても、それはすべてあなたたちへのGIFTです。いいことも、ぱっと見悪く見えるようなことも、そこから学ぶべきことが何かしらあるはず。どんなことも全力で楽しんで、すてきな人になっていってくださいね。卒業おめでとう＆今までありがとう。

多田先生より



3-G

G組のみなさんとともに笑い、歌い、意見をぶつけ合い、教え合い、ときに涙した1年間は、まるで夢のように楽しい毎日でした。勉強だけでなく行事も全力で楽しむのがこのクラスの良いところでしたよね。立命祭閉祭式での二度にわたるグランプリ再演で全校生徒を感動させた圧巻のミュージカルは本校で永遠に語り継がれることでしょう。中学高校六年間の学びを終え、旅立つ皆さん。これからも、ゆっくり歩き、たくさん本を読み、世界中を旅しながら成長していってください。卒業おめでとう。さようなら。

里見先生より



3-H

卒業おめでとう！高校生活はずっとコロナ禍で、高校生らしい活動が制限されてしまいましたね。思い描いていた高校生活のうち、どれだけ実現することができたのでしょうか。それでも立命祭や国内研修を通して、H組の仲間と協力しながら経験値を増やしてきていたと思います。大学ではやりたいことは躊躇せずどんどんチャレンジして下さい。そして、どんなことをしているか話しに来てくれると嬉しいです。これからもみんなが頑張っている姿が私にとってのモチベーションですよ。

渡邊先生より



3-I

3年I組の皆様ご卒業おめでとうございます。皆さんclass! 毎日学習記録！といった方が良かったかな?(笑)。君たちには高校1年生のころから何度もお伝えしてきましたが、受験で第1志望に合格できなくてもあきらめず前を向いて努力出来れば必ずいつか報われますよ。新たな生活が4月からスタートしますが君たちらしく戦い続けてください。日々は決戦！たまには慶祥に帰ってきて元気な顔を見せてくださいね。

高橋先生より



中学競技かるた部

全道中学生大会 優勝・準優勝・3位・4位  
全国中学生選手権大会出場



中学囲碁・将棋部

文部科学大臣杯 小・中学校将棋団体戦  
北海道大会 優勝  
東日本大会出場

中学美術部 黒板アート



茶道部

中体連応援お茶会



中学演劇部



北海道中学生演劇発表大会  
「優秀賞」と3年連続「創作脚本賞」受賞

ピティナ・ピアノコンペティション全国大会  
連弾中級A F級銅賞受賞  
ベスト14賞入賞



高校野球部

秋季北海道高校野球大会  
2年連続の全道大会出場  
準決勝敗退も  
創部初の4強進出

打って走って点をとる  
キタキツネ打線、

中学野球部

全日本少年軟式野球選手権  
石狩支部大会優勝  
昨年秋に続き、6回目の全道大会出場



中学ラグビー部

第42回東日本中学校ラグビー大会



祝



東日本大会 3位入賞  
北海道勢初の東日本大会  
出場も更なる躍進  
「北海道ラグビー史上初」を  
更新する快挙!

生徒有志による  
ウクライナ避難民への募金活動



インドネシア・ポゴール市の  
Sekolah Pilar Indonesia校  
との学校交流会



第54回 国際化学オリンピック

高3

中地 明さん 金メダル獲得

北海道初 おめでとう!!

世界84カ国・地域・他の高校生326名が  
化学の実力を競い合う「化学の祭典」に、日  
本から全国3,257名の中から選ばれた4名が  
出場し、日本代表全員が金メダルという史上  
初の快挙を成し遂げました。7月10日から18  
日の9日間にわたり、例年は、開催国で博物  
館に行ったり、文化体験をしたり、いろいろ  
なアクティビティが用意されているのですが、今  
年はオンライン開催(開催地:中国)のため、リ  
モート試験のほか、オンラインでの文化体験  
や専門家のお話を聞くなどのイベントとなりま  
した。

もともと化学に興味はなく数学が大好きな

中地さんでしたが、化学の先生から「化学を  
勉強してみたら?」と参考書をいただいたこと  
が化学にハマるきっかけになったそうです。

将来は、「化学とか数学とかそういった関  
心のある分野を結ぶような仕事をしたい」、そ  
して「自分の学部にとらわれず、新しいことに  
興味を湧いたときに突き進むことができるか  
ら」とアメリカの大学進学を希望しています。

また、「新しい可能性と向き合うことはとて  
も大事なこと」、「想像もつかないところに出  
会いが待っているかもしれない」と、挑戦する  
ことの大切さをお話していただきました。

(SPIRITS独占インタビューより)

優勝の瞬間



写真提供: 文部科学省

なお、中地さんは見事に  
アメリカ・ハーバード大学  
への入学を勝ち取り、9月  
から進学される予定で  
す。今後も世界へははたく  
中地さんを応援します!

第102回 全国高校ラグビー大会

創部初の 花園出場

おめでとう!!



札幌からもパブリックビューイングで応援!

高校ラグビー部  
久保田主将から  
コメント

今回、花園出場に際してたくさんの応援をいただき、ありがとうございました。結果は初戦敗退となってしまいましたが、強豪相手にもチーム一丸となって最後まで諦めずに戦い続けることができました。最後には、皆様の応援の後押しもあって花園初トライを決めることが出来ました。後輩たちは花園出場だけではなく、花園での勝利を目指して日々の練習に取り組んでいくと思いますので、引き続きラグビー部の応援をよろしくお願い致します。

高校演劇部

高文連石狩支部高校演劇発表大会  
出場36校中5校に与えられる最優秀賞獲得  
3年ぶり全道大会出場



科学の甲子園全国大会  
生物部門1位  
総合成績5位入賞

高校陸上競技部

全国高校総体北海道予選会  
男子リレー2種目優勝 個人15種目他25名が総体へ



全日本サンスポ女子  
アマゴルフ選手権  
18位入賞



高校囲碁・将棋部

全道高等学校将棋大会 女子団体戦優勝  
全国大会 女子団体戦出場



女子テニス部

高体連全道大会 団体戦準優勝  
新人戦全道大会 団体戦3位



高校競技かるた部

北海道選手権大会 2名同時優勝  
全国高等学校総合文化祭 北海道初のベスト8



男子テニス部

秋季テニス全道大会  
団体戦ベスト8



全日本中国語  
スピーチコンテスト  
北海道大会最優秀賞

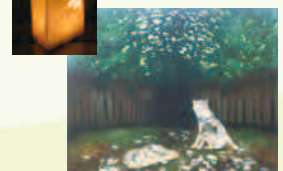
弁論研究部

全国総合文化祭弁論部門 優秀賞、7位入賞  
全道高等学校弁論大会 最優秀賞



高校美術部

全道、  
全国大会に出品



札幌国際大学主催  
日本語スピーチコンテスト  
本校留学生が2位、特別賞



全国高等学校総合文化祭  
東京大会文芸部門  
北海道代表文士として出場





## 私学助成運動

皆さまからいただいた18,000筆の署名を持参し、全ての子どもたちが希望の学校で受ける教育を受けられるよう、また私学助成金を増額していただけるよう、お願いしてまいりました。皆さまのご協力、ありがとうございました。



▲国会請願



▲道議会請願

## 保護者会

高校スタッフルーム前、メディアセンター個別ブースにLEDスタンドライトを寄贈しました。明るくなった自習スペースを是非活用ください!



## おやじの会

7月10日立命祭にて、トンデンファームのフランクフルト(1,000本)を3年ぶりに販売しました。



## 教育振興会



留学生向け日本伝統文化体験を3年ぶりに開催しました。9月28日には、ベルギー・ベトナム・トルコからの留学生3名が、1月31日には韓国安養高校からの留学生15名が参加。着物を着て茶道部によるお茶席や、折り紙でおひなさまの飾りを作成し、日本文化を体験しました。



## 立命祭でペットボトル飲料を生徒へ

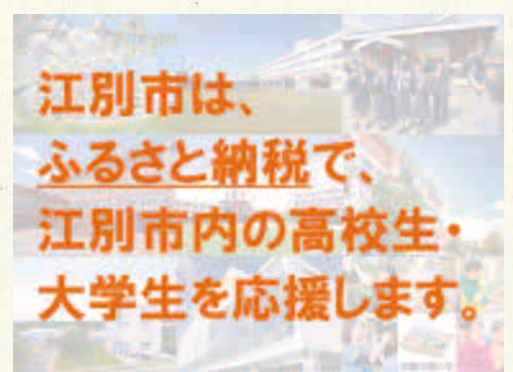
保護者会・教育振興会より、今年度は大型の冷蔵庫3台をレンタルし、冷えた状態の飲料を生徒たちへ配布(各日2本ずつ)することができ、暑い中、大変喜ばれました。



## TOPICS

### 江別市「ふるさと納税」で立命館慶祥に寄付が可能に

江別市以外にお住まいの皆さま、ぜひ江別市にご寄付いただき、「寄付金の用途」に、立命館慶祥を選択して慶祥の応援をしていただけると幸いです。



[ ご案内サイト ]



令和4年7月から、江別市ふるさと納税の寄附先メニューに、新たに市内の高等学校及び大学の項目が追加され、応援したい学校へ寄附をすることができるようになります。  
納められた寄附金額の一部(※1)は、各校の教育環境の充実のため、翌年度に補助金として交付されます(※2)。  
寄附者は、寄附額に応じたふるさと納税の返礼品を選ぶことができ(※3)、住民税・所得税の控除を受けることも可能です。

(※1) 返礼品等にかかる経費を控除し交付します。

(※2) 「ふるさと納税」教育応援補助金(仮称)の交付申請を、令和5年度から交付開始予定です。交付を受けるには、各学校から事業計画に基づき申請が必要です。

(※3) 江別市内に住所がある方は、返礼品の選択・受け取りはできません。

お問い合わせ 江別市役所企画政策課企画課 電話011-381-1015

